

近畿地方整備局 道 路 部	配布日時	平成 1 5 年 1 1 月 1 4 日 1 4 時
資 料 配 布		

件 名	近畿地方整備局管内の直轄国道における落橋防止装置工等のアンカーボルト調査結果について（報告）
-----	--

概 要	近畿地方整備局では、直轄国道における落橋防止装置工等のアンカーボルトについて調査を行ってきましたが、調査に時間がかかるものを除いて概ね調査が終了しました。 調査対象橋梁数 9 4 橋のうち、新たに 8 落橋防止装置(対象アンカーボルト本数 1 1 本) において所定の機能が発揮できないことが判明しました。 この結果を踏まえ、今後の再発事故防止のためアンカーボルトの全数調査を実施するなど、充実を図ることとしました。
-----	---

取 扱	_____
-----	-------

配 布 場 所	近畿建設記者クラブ 大手前記者クラブ
---------	-----------------------

問 い 合 わ せ	近畿地方建設局 道路部 道路管理課長補佐 山田 和之 TEL: (代表) 0 6 - 6 9 4 2 - 1 1 4 1 [内線 4 4 1 2] (直通) 0 6 - 6 9 4 1 - 2 5 0 0
-----------	---

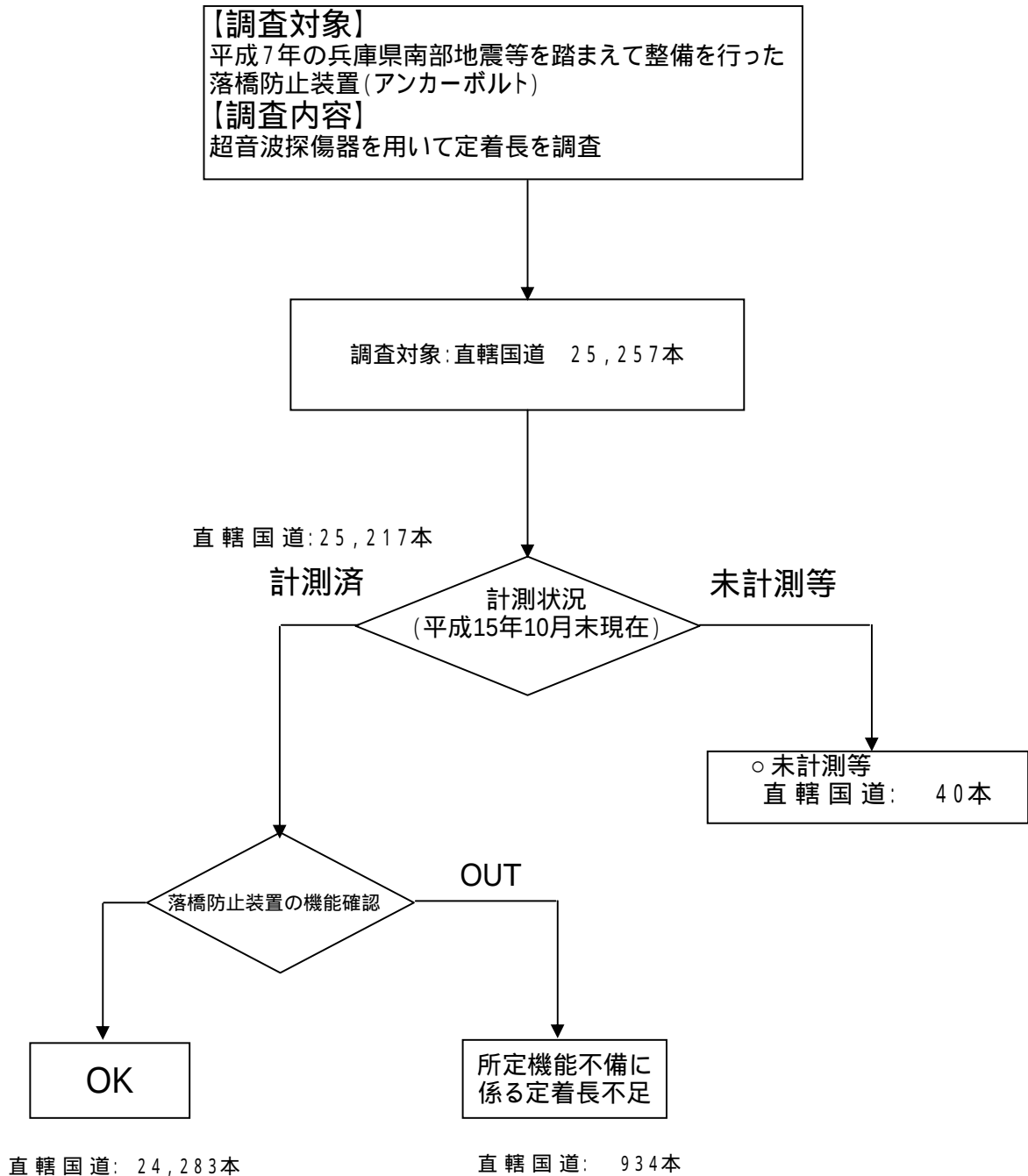
近畿地方整備局管内の直轄国道における落橋防止装置工等のアンカーボルト
調査結果について（最終報告）

- 近畿地方整備局においては、昨年の岐阜県発注工事の落橋防止装置工アンカーボルト施工不良問題を受けて、管内直轄国道の同種工事の実態調査を実施し、本年7月25日に中間公表を行ったところですが、今回、調査に時間がかかるものを除いて、概ね調査が終了したので最終のとりまとめを行いました。
- その結果、平成7年の兵庫県南部地震等を踏まえて施工された同種工事の橋梁が94橋ありました。
- 中間公表以降の調査において安全性の検証を行った結果、新たに1橋の8装置において所定の機能が発揮できないことが判明しました。（これに関係するアンカーボルトの定着長不足本数は、調査アンカーボルト1,138本の内、11本）
- このため、所定の機能が発揮できない8装置については、今後、早急に補修する予定です。
- この結果を踏まえ、近畿地方整備局においては、今後の再発防止のため請負業者に対し超音波探傷器による全数調査を義務付けるとともに、検査においても、中間技術検査等を活用し、全数検査を実施するなど更なる充実を図ることとしました。
- なお、補修工事については、今年度内を目途に概ね完了する予定です。

<資料添付>

アンカーボルト現地調査結果

アンカーボルト定着長点検調査フロー図



落橋防止装置の機能確認の結果、「OK」となった装置におけるアンカーボルトの中には、一部定着長が所要の長さに不足する本数も含む。

アンカーボルト現地調査結果

1．現地調査状況

H15.10.31現在

地整等名	橋梁数			落橋防止装置数			アンカーボルト本数		
	調査対象	調査済 (調査中含む)		調査対象	調査済 (調査中含む)		調査対象	調査済	
			所定機能不備			所定機能不備			所定機能不備
近畿地整	9 4	9 4	2 6	4 , 3 5 5	4 , 3 5 5	3 1 6	2 5 , 2 5 7	2 5 , 2 1 7	9 3 4

2．新たに施工不良が判明した業者，橋梁名等一覧表

委託先	橋梁名	定着長不足に伴う落橋防止装置の機能が満足されない装置数	定着長不足アンカーボルト本数(本)
J R 西日本 (株)	関寺橋	8	1 1